

2. 事業の目的と概要	
(1) 事業概要	(和文) バングラデシュでは糖尿病、高血圧などの非感染性疾患（以下「NCD」とする）が増えているが、政府による NCD のための医療サービスは乏しく、NCD の治療により貧困化するケースを散見する。政府は非感染性疾患の予防と管理を強化するため、診断、治療、相談等を行えるよう、全国の郡病院に NCD コーナーを設置する方針を示している。本事業では、NCD コーナーに期待される機能のうち、予防啓発、生活指導、相談、フォローアップ支援、データ管理など（医療サービスを除く）社会的サービスの機能の強化を通じ、保健医療の網から落ちてしまいやすい NCD 患者の保健ケアへのアクセスを改善することを目指して実施する。対象地域は、ジョソール県内の 4 郡でいずれも NCD 対策が行き届かず、生活習慣、飲料水砒素汚染などの NCD リスクを抱えた地域である。本事業は、バングラデシュ政府の保健サービス局と連携して実施し、事業成果はバングラデシュ政府の今後の NCD 対策に反映される予定である。 (英文) The project is to improve NCD patients access to health care through strengthening of counseling services in NCD corner
(2) 事業の必要性（背景）	(ア) 事業実施国における一般的な開発ニーズ バングラデシュは、建国時に制定された憲法において医療ケアは国が支給することになっており、政府系病院の医療費は無料だが、実際の医療サービスがごく限定されている。2014 年の GDP に対する公的保健総支出は 0.79% であり、個人支出に頼っていることから、疾病と医療費支出による貧困化が多い国としても知られている。 近年バングラデシュでも、疾病構造の転換が見られ、NCD による死亡が全体死因の 67% に増加し、70 歳未満の NCD による死は 22% となっており、新たな課題となっている。しかし、保健医療サービスは母子保健と感染性疾患に偏り、NCD のための予防と管理のためのサービスは十分に整備されてこなかった。 NCD とともに妊娠出産、感染性疾患、栄養の問題も根強く残り、二重負担となっている。現政権は 2032 年までに求められる全ての保健医療サービスを財政的損失なしで受けられる状態ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ（UHC）を目指しているが、UHC 達成には退行性慢性疾患である NCD の医療サービスの保障が課題となっている。 (イ) 申請事業の内容（事業地、事業内容）選定の理由 実施団体は 2013 年よりバングラデシュ南西部においてコミュニティレベルの非感染性疾患対策に取り組んできた。2013-2015 に実施した「非感染性疾患リスク低減事業」では、地域のリスク要因を整理した上で予防啓発の方法を確立し、対策の担い手となれる人材のキャパシティビルディングを行い、早期発見のための住民参加型健診キャンペーンも考案し、推進してきた。 この事業で、女性、アクセスの悪い地域に住む人、貧困層、宗教的マイノリティを含む弱者層にとって、NCD 対策のニーズが高いことが確認できたことから、「クルナ管区における非感染性疾患のためのコミュニティ強化事業 2016-2019」では、脆弱層の住む地域にフォーカスをした対策を実施した。バングラデシュ政府の保健サービス局と連携協定を結び、コミュニティクリニック（以下「CC」とする）等の保健

	施設においても NCD に関するサービス（健康指導や測定）の機能強化に取り組んだ。 他方、コミュニティレベルでの活動を通じて住民の NCD に対する意識が高まり、NCD の疑い患者がリファールを受けて政府病院に行っても、病院では人材の不足や、検査・薬・治療の医療サービスの不在により、適切な対応が受けられず、そのことがコミュニティレベルの NCD 対策の推進のブレーキとなりつつある。 バングラデシュ政府は、政府系病院に NCD コーナーの設置とともに、高血圧と糖尿病の薬の配布を開始したが、罹患率が高いことから、最も必要な人に継続的にそれらの医療サービスが届くか不透明である。こうした状況を鑑み、NCD コーナーの機能拡充を通じて病院側の NCD 患者の受け入れ態勢と相談機能を強化し、病院と地域保健との連携を形成することで、NCD 患者の保健医療へのアクセス改善を計ることを目的に本事業を提案する。 NCD コーナーとは：郡病院内の一区画をカウンセリング、データ管理、指導、地域連携など、医療行為を除いた基本機能が整備されたエリアのこと。 バングラデシュ政府保健サービス局は NCD 対策の中で、「患者登録、病気診断、指導、カウンセリング、治療、データ管理、専門病院へのリファール、地域保健への患者情報の提供、フォローアップ等」を目的に全国の郡病院に NCD コーナーを設置する方針を示している。 【事業地選定について】 事業地域として選定されたジョソール県モニランプル郡、チョウガチャ郡、ケシャプール郡は NCD 対策は遅れているが、母子保健などを通じて郡病院強化には熱心に取り組んでいた地域であることから既存のリソースを生かしつつ、郡病院内 NCD コーナーのモデル構築を目指す。 先行案件の対象地域のショドル郡には、郡病院が存在しないが*、2019 年 1 月に中央政府から NCD の治療薬が郡単位で配布されることになったことを受け、郡保健所内に NCD コーナーを設置した。ここでショドル郡内のコミュニティクリニックからリファールを受けた患者に対するサービスの提供を開始したため、この NCD コーナーを強化対象として加える。 *県の中心部にあるショドル郡は、県病院に近いという理由から郡病院がない。 ジョソール県モニランプル郡、チョウガチャ郡、ケシャプール郡郡病院内およびショドル郡保健所内の 4 つの NCD コーナー強化の教訓・成果をバングラデシュ政府に提言し、バングラデシュ全体の NCD コーナー強化への貢献を目指す。 ●「持続可能な開発目標 (SDGs)」との関連性 「持続可能な開発目標 (SDGs)」との関連性 主に SDGs3. 4「2030 年までに非感染性疾患による若年死亡率を予防や治療を通じて 3 分の 1 減少させる」に貢献する。 ●外務省の国別開発協力方針との関連性 本事業は「社会脆弱性の克服」に関連して実施する。 ●「T I C A D VIにおける我が国取組」との関連性 アフリカ外の事業であり関連はない
--	--

(3) 上位目標	非感染性疾患患者の保健ケアへのアクセスが改善される
(4) プロジェクト目標	政府病院の非感染性疾患 (NCD) コーナーの相談サービスが強化される
(5) 活動内容	1. NCD コーナーの整備を行う *1 年次、視聴覚設備完成のみ 2 年次 1-1 NCD コーナーの機能と役割に関するワークショップを開催する 1-2 NCD コーナーのデザインを決定する 1-3 必要な資機材を購入、設置する *電子血圧計、体重および身長測定器、データ管理用コンピューター、映像教材投影用ディスプレイ、指導用教材、ベッド、カーテン、机、椅子、ファン。 2. NCD コーナーで従事する人材および地域保健従事者を育成する *1 年次に行うが、実務研修とレビュー研修を 2、3 年次も継続する。 2-1 郡レベルのワークショップを開催する。 対象：郡保健家族計画事務官 (UHFP0)、郡家族計画事務官 (UFPO)、SACMO (Sub-Assistant Community Medical Officer)、シニア看護師 内容：NCD 対策の課題、NCD コーナーの機能 2-2 NCD カウンセラー育成研修を実施する (17 名) 対象：看護師 (2 名×4 郡)、統計担当 (4 名と書記長 1 名)、事業雇用の NCD カウンセラー (4 名) 内容：重症化予防のための管理、地域保健連携など病院でのカウンセリング 2-3 保健ワーカー研修を実施する (600 人) 対象：保健従事者 内容：予防啓発、スクリーニング、リファerral 3. NCD 患者のデータ管理システムを構築し、地域連携に活用する *データシステム導入は 1 年次。運用支援は 2、3 年次に継続して行う。 3-1 患者管理のためのデータシステムについて保健サービス局、病院と協議し、患者データ管理のためのアプリを開発する 3-2 NCD カウンセラー、保健ワーカーにアプリの使用方法を教える 3-3 フィールドの保健ワーカーが患者・疑い患者のデータをアプリに入力する *端末を持っていないスタッフは紙ベースで患者情報を記入し NCD コーナーに送る 3-4 NCD コーナーのカウンセラーが患者データを入力 (一部は更新) する 3-5 郡保健局は 3-3、3-4 で集められたデータを確認し、郡保健局の月例会議で報告する 3-6 郡保健局は、このデータを政府のサーバーとリンクさせる 4. NCD 予防の指導教材 (映像を含む) を作成する*1 年次に作成 4-1 保健サービス局や地域の保健医療従事者、専門家と協議し、病院内外で流す NCD 予防のための映像等啓発教材の内容を決定する 4-2 業者を選定する 4-3 啓発教材を作成する 4-4 啓発教材を病院内外で活用する。 5. コミュニティのイニシアティブで生活習慣と環境改善を推進する

*5-1～5-5 は、1 年次から開始。5-6 水設備修繕と新設は 2 年次と 3 年次に行う

5-1 コミュニティグループ* (CG) が環境改善の必要性を理解し地域レベルで取り入れる

5-2 プロジェクトが CG による啓発教材を使った保健教育を支援する

5-3 中学校で保健教育ができるよう保健教師対象としたワークショップを開催する (300 校*10 教師=3,000 人)

5-4 NCD の早期発見が住民参加型健診キャンペーンを活用して推進される

5-5 郡保健局が保健施設における水の問題について把握する (1 年次)

5-6 対象地域内の保健施設が安全な水を確保することを支援する (2 年次)

*コミュニティグループ (CG) は、政府がコミュニティクリニックの運営母体として設置を義務付けているグループ。運営以外に、地域活動計画を立て保健活動を行う。

*水の供給について：対象地域内の保健施設数：郡病院 (UHC) 4、コミュニティクリニック (CC) 156 カ所、家族福祉センター (FWC) 42、ユニオンサブセンター (USC) 10、計 212 カ所。このうち 3 割程度が何らかの問題を抱え、不稼働になっていることが経験的に推測される。本事業では、保健施設の運営委員会の要請に基づき、手押しポンプ式井戸のバルブやハンドル交換などの修繕を 40 カ所、水質・井戸深度・周辺環境など本質的な問題がある場合に備え新規水源設置を 28 カ所にて計画している。

6. 調査、評価を実施し、成果を発信する。*1～3 年次

6-1 ベースライン・フォローアップ調査の実施 (1, 2, 3 年次)

6-2 評価ワークショップ (開始・中間・最終) の実施 (1, 2, 3 年次)

6-3 成果普及研修を実施する (30 回*20 人=600 人) (2 年次)

6-4 開発フェアに出展し、成果を普及する (1, 2, 3 年次)

6-5 最終報告書を作成する (3 年次)

6-6 最終報告会を実施する (3 年次)

裨益人口 (対象郡人口約 160 万)

直接裨益者	計	19,864 人
NCD カウンセラーと統計担当	2-2	12 人
保健ワーカー	2-3	600 人
NCD コーナー利用者	1,2,3	13,600 人
コミュニティグループメンバー	5-1	2,652 人
中学校教師	5-3	3,000 人
間接裨益者	計	154,000 人
保健施設利用者 (含む安全な水受益者)	2-3	23,400 人
啓発参加者 (映像等)	4-4	13,600 人
中学生	5-3	63,000 人
コミュニティレベル健診参加者	5-4	46,000 人
啓発参加者 (フェア、成果普及研修、CG が計画し実施される啓発)	2-7	8,000 人

(6) 期待される成果と成果を測る指標	成果 1. NCD コーナーで受けられるサービスが強化される。 指標 1. NCD コーナーの基盤整備進捗 1 年次：修繕完了、指導教材、家具、機器類の導入 2 年次：映像教材投影用ディスプレイ設置スペース 入手手段：病院の記録 成果 2. NCD コーナーで従事する人材および地域保健従事者のキャパシティが向上する。 2-1 NCD コーナーの相談件数 1 年次： 1,600 回 2 年次： 5,760 回 3 年次： 7,680 回（計 15,040 回） 入手手段：NCD コーナーの記録 2-2 全 NCD カウンセラー理解度テストの達成度 1 年次：60% 2 年次：70% 3 年次：80% 入手手段：毎年テストを実施 * 毎年共通の内容に 2 年次と 3 年次には新たな内容を加え難易度をあげる。 成果 3. 患者管理のための病院と地域の連携システムが強化される。 3-1 アプリによる入力システムが立ち上がる 1 年次：アプリによる入力システムの立ち上げが完了し、3,900 人分の情報登録がなされる。 入手手段：サーバー内のデータ 3-2 郡病院 NCD コーナーの NCD カウンセラーによってデータが追記される患者の数 2 年次 1,740 人・3 年次 1,920 人、計 3,660 人 * 2 年次・3 年次の量的指標については 1 年次の経過を踏まえ見直しを行う。 入手手段：サーバー内のデータ 成果 4. 病院内外で映像等を使った健康教育が実施される。 4-1 映像等を通じて予防の知識を得た人の数 県病院での投影を含めた場合の数 1 年次： 1400 人 2 年次： 5,200 人 3 年次： 9,500 人（計 16,100 人） 入手手段：プロジェクトの調査 4-2 健康教育を受けた人のうち内容を理解した人の割合 1 年次：調査対象者（360 人）の 60% 2 年次：調査対象者（1008 人）の 70% 3 年次：調査対象者（1536 人）の 80% 入手手段：プロジェクトによる理解度の出口調査
----------------------------	---

	成果 5. 対象地域で NCD 予防のための環境改善が推進される。 指標 5-1 地域レベル計画に NCD 予防活動を取り入れた CC の数 (全 156CC) 2 年次 : 60% 3 年次 : 40% (計 100%) 入手手段 : 地域レベル計画 指標 5-2 健康教育を受けた中学生数 1 年次 : 31500 人 2 年次 : 31500 人 (計 63,000 人) 入手手段 : 学校とプロジェクトの記録 指標 5-3 保健施設内で新たに安全な水を得る人の数 2 年次 : $30 * 600 = 1,800$ 人 3 年次 : $30 * 600 = 1,800$ 人 (計 3,600 人) 入手手段 : CC とプロジェクトの記録 成果 6. 本事業の成果と教訓が取りまとめられ、発信される。 指標 6. 最終報告書 3 年次 : 完成
(7) 持続発展性	実施団体は 2011 年当時より、バングラデシュ政府保健サービス局 NCD 対策課と連携して対策を進めてきたが、2017 年 7 月には同課とプロジェクトの枠を超えた包括的連携協定を結び、NCD 対策における課題を抽出し、それへの対応策を共に考案して方針を決定してきた。更に、バングラデシュ政府は第 4 次保健・人口・栄養セクター開発プログラム (HPNSDP, 2017-2022) において、非感染性疾患対策強化の柱として NCD コーナーの設置を全国に段階的に進める方針を示している。 本事業はバングラデシュ政府保健サービス局との連携で推進されるモデル事業であり、その成果はバングラデシュ政府の NCD 対策に反映されることが期待できる。